

入江崎水処理センターでメガソーラーの PPA 事業を開始します！

川崎市上下水道局は、入江崎水処理センター西系水処理施設屋上に大規模太陽光発電設備を設置し、発電した電力を施設で消費する PPA（電力購入契約）事業の基本協定をスマートソーラー株式会社と締結しました。川崎市上下水道局での PPA 事業は初の取組となります。

入江崎水処理センター西系水処理施設屋上（約 16,000m²）に設備容量約 1,800kW の大規模太陽光発電設備を設置し、発電したすべての電力を入江崎水処理センターで消費します。これにより、新たに入江崎水処理センターの年間使用電力量の約 9%に相当する約 210 万 kWh の電力を再生可能エネルギーで賄うことが可能となり、年間約 900t の CO₂（家庭の年間の CO₂ 排出量の約 360 世帯分）を削減することができます※。

（※既に導入している再生可能エネルギーも含めると、入江崎水処理センターの年間使用電力量の約 10%に相当する約 230 万 kWh の電力を再生可能エネルギーで賄うことが可能となり、年間約 980t の CO₂ を削減することができます。）

1 事業内容

本事業は、川崎市が大規模太陽光発電設備の設置場所として公共施設の屋上を提供し、スマートソーラー株式会社が発電設備を設置、維持管理を行い、発電した電力を供給するオンライン型 PPA 事業です。また、本事業は地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（環境省）の対象となっています。

なお、入江崎水処理センター西系水処理施設は津波避難施設となっており、引き続き、津波避難施設として利用できます。さらに、本事業により、避難者への一部電力の供給が可能となります。

2 事業者選定

令和 6 年 3 月に公募型プロポーザル方式により事業者募集を開始し、同年 7 月に受注適格者を特定、今回、基本協定を締結しました。今後、設計、施工を進め、令和 7 年度中の発電開始を目指しています。

3 入江崎水処理センター施設概要

入江崎水処理センターは昭和 36 年 9 月に運転を開始した下水処理場で、神奈川県下で最も古い下水処理場です。処理区域は川崎区の全域と幸区・中原区の一部からなり、合流式で処理しています。

また、平成 15 年度から老朽化した施設の再構築に合わせて「1.環境改善」、「2.エネルギー活用」、「3.資源循環」の 3 つの環境対策を柱とした高度処理施設の建設を進め、平成 31 年 3 月に西系水処理施設の再構築事業が完了しました。

計画処理面積：2,009ha

計画処理人口：322,700人

計画処理能力：318,600m³/日

処理方法：標準活性汚泥法、担体利用・嫌気—無酸素—好気法

放流水域：東京湾

4 事業概要

事業名称：入江崎水処理センター西系水処理施設上部 PPA 事業

対象施設：入江崎水処理センター西系水処理施設

(所在地：川崎市川崎区夜光3丁目2番地2号)

事業期間：電力供給開始日から20年間

基本協定締結事業者：スマートソーラー株式会社

(所在地：千葉県木更津市かづさ鎌足三丁目9番地1)

5 これまでの経緯と今後の予定

令和6年3月29日：公募要領等の公表

令和6年4月19日：公募型プロポーザル参加意向申出書等の提出期限（提出3社）

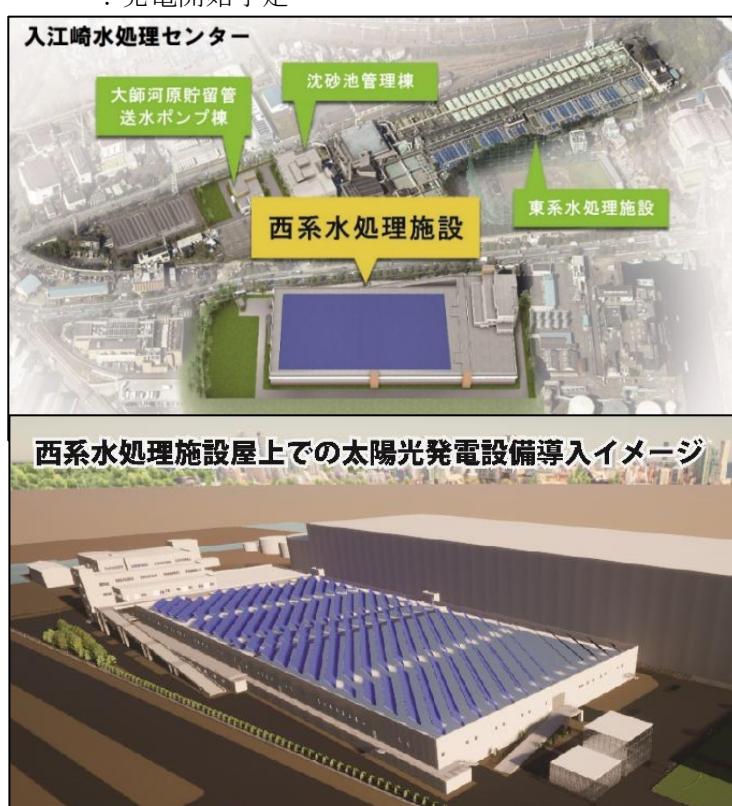
令和6年6月10日：企画提案書の提出期限（提出2社）

令和6年6月25日：プレゼンテーション及びヒアリング審査実施（実施2社）

令和6年7月31日：スマートソーラー株式会社を受注適格者として特定

令和6年11月8日：スマートソーラー株式会社と基本協定を締結

令和7年度：発電開始予定



問合せ先

川崎市上下水道局下水道部下水道計画課 小林

電話 044-200-2884